

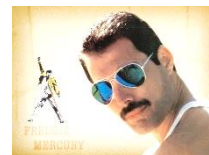
本日の講座でヨウコさんから標題の表現を教わりました。

Like there's no tomorrow Doing something quickly. 何かを大急ぎでやること。

" I knew the project deadline was approaching, and they were working like there's no tomorrow in the office today." プロジェクトの締め切りが違っていたようだった。彼らは今日、職場で大急ぎでドンドン仕事をこなしていた。

直訳すると、「明日がないかのように」となりますが、文字通りの意味です。つまり、今日が人生に残された最後の一日というように、結果がどうなるのかまわらずに、大急ぎで何かをドンドン行うことを言います。

この表現を聞いて、『俺たちに明日はない』という有名なアメリカ映画を思い出すご同輩の方々がいると思います。この映画の原題は "**Bonnie and Clyde**" でした。原題とまったく違う邦題をつけたのですが、大変魅力のあるタイトルとなりました。新しくはクイーン、フレディ・マーキュリー 85年発表のソロアルバム Mr. Bad Guy の最終曲。Freddie Mercury - **Love Me Like There's No Tomorrow** となります。



You had to kill the conversation	君は会話を終えなければならなかった
You always had the upper hand	君がいつも上に立っていた
Got caught in love and stepped in sinking sand	恋に巻き込まれ、沈む砂に足を踏み入れた
You had to go and ruin all our plans	去って予定を全て潰さなければならなかった
Packed your bags and you're leaving home	君は荷物をまとめて家を出ようとしている
Got a one-way ticket and you're all set to go	片道切符を手に入れ、準備は万端整った
But we have one more day together, so	だけど僕らはもう一日一緒にいられるから
Love me like there's no tomorrow	明日がないかの様に僕を愛しておくれ
Hold me in your arms, tell me you mean it	抱きしめて本気だと言ってほしい
This is our last goodbye and very soon it will be over	これが最後の別れ、もうじき終わってしまう
But today just love me like there's no tomorrow	だけど今日は明日などないとばかりに愛して

追記：There's no tomorrow. (明日がない)

Tomorrow never comes. としても同じです。これを単独で使えば「明日なんかないんだ」という絶望感でいっぱい悲痛な叫びとなり、一般的な会話表現といえませんが、**if** や **like** ~ などとともに使えば日常的な表現になります。事実 **like there's no tomorrow** (まるで明日がないみたいに) はしばしば使われる表現です。これは本来「将来を考えずに無頓着にものごとをする」という意味の比喩表現で、**spend money like there's no tomorrow** (金を無計画に使う) のように使うのが正しいのですが、**I eat like there's no tomorrow** (明日がないみたいにガツガツ食べる) とか **Study like there's no tomorrow.** (明日がないみたいに必死に勉強しなさい) のように使う例もあるにはあります。このように「夢中で」の意味で使うのはわからないわけではないのですが避けた方がよいかもしれません。